

私の生い立ち

動画リンク : <https://youtu.be/PbKmxPCvfRo>

今回は「私の生い立ち」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立てください。

今日は私の生い立ちについてお話しします。

生い立ちというのは私がどうやって育ってきたのかという意味です。

「人生」という言葉に意味は似ているかもしれませんが。

ただ、「人生」という言葉は過去の話でも未来の話でも使いますが、「生い立ち」は過去に対してのみ使います。

私の生い立ちをお話しすることがみなさんの日本語学習の役に立つのなら嬉しく思います。それでは始めましょう。

■自己紹介

みなさん、こんにちは。まずは自己紹介をさせてください。

私の名前は佐藤大輔です。
38歳です。

妻と、子どもが2人います。
みんなで4人家族です。

妻の名前は「桜」といいます。
日本の花として有名なあの桜です。

妻は私の3歳年下で35歳です。とてもやさしくておもしろい人です。

子どもは11歳の男の子と、4歳の女の子です。
名前は「勇氣」と「花」です。
2人ともとてもかわいいです。

趣味は音楽と旅行です。
好きな食べ物はお寿司です。
仕事はホテルで働いています。

給料は45万円くらいです。けど、税金や保険などが引かれて、実際に私の銀行口座に振り込まれるお金は35万円くらいです。

■私が生まれた場所と当時の家族構成

私は日本の神奈川県横浜市で生まれました。
父、母、兄、私、妹の5人家族です。

父は銀行員でした。
とても厳しい面もありましたが、普段はとてもやさしい人です。

母はいつもおいしい料理を作ってくれます。兄はとても頭が良い人です。
妹はとても明るい性格ですが、少しうるさいです。

父と母は今でも横浜で暮らしています。
毎年、8月の夏休みとお正月は妻と子どもたちと一緒に横浜の実家に帰ります。

■小学校～中学校

日本では義務教育が9年間あります。
義務教育というのは、国が定めている必ず受けないといけない教育のことです。

小学校が1年生～6年生の6年間。
中学校が1年生～3年生の3年間。

これを合わせた9年間は日本では義務教育となっています。
ちなみに、日本の小学校は7歳で入学して、12歳で卒業します。

そして中学1年生のときに13歳になり、15歳で中学校を卒業します。

そして、日本では義務教育を終えた人の97%が高校に進学します。

私は小学生のとき、サッカークラブに入っていました。そのときの将来の夢はサッカーの日本代表に選ばれることでした。

勉強することがあまり好きではなかったため、毎日サッカーばかりしていました。

父には「サッカーばかりしていないで勉強もしなさい」と言われていました。

けど、母はいつも「大輔が好きなことをすればいいの」と言ってくれていました。

中学校に進学してもサッカークラブに入りました。

小学校ではレギュラーメンバーでしたが、中学校ではレギュラーメンバーにはなれませんでした。

ただ、サッカーというスポーツに取り組むことでたくさん大切なことを学びました。

私は今でも小学生と中学生でサッカークラブに入って良かったと思っています。

■高校

私は中学校を卒業したあと、高校に入学します。このとき15歳でした。サッカークラブには入らず、勉強に集中することに決めました。

高校では勉強が難しくなり、サッカーを続ける余裕がなかったのです。それでも、友達と一緒に遊ぶ時間や家族との時間を大切にしていました。

学校の授業では特に英語と数学が好きでした。

高校の夏休みは7月20日から8月31日まででした。40日間くらいあります。とても長いです。

私は高校1年生と2年生の夏休みには20日間くらいコンビニエンスストアの店員として働きました。

そのときのコンビニの時給は1時間950円でした。1日6時間働いて、5,700円になりました。

私がコンビニの仕事で稼いだ金額は20日間で100,000円を超えました。

昼間の時間帯の時給は1時間950円ですが、夜遅い時間帯の時給は1,200円でした。

私はたくさんお金がほしかったので、夜に働きたかったのですが、18歳未満の高校生は昼間の時間にしか働くことができませんでした。

私にとってコンビニで働いてお金を稼いだことは、とても楽しく、素晴らしい体験になりました。

■大学

高校を卒業した後、私は大学に進学しました。このとき17歳で、大学に入った年に18歳の誕生日を迎えました。

大学では経営学を選びました。将来、どのような仕事をするとしても役に立つと思ったからです。

大学生活はとても楽しく、たくさんの友達ができました。勉強もとてもがんばりましたが、アルバイトもしてお金を稼ぎ、自分の経験を増やしました。

アルバイトというのは短期間の雇用形態で正社員ではありません。

大学生のときにやったアルバイトは、高校生のときと同じコンビニの店員と引越し業者の2つです。

コンビニは夜遅くから朝早い時間帯を選びました。そのほうがお給料が高いからです。時給は1,200円で8時間働いたので1日1万円くらいになりました。

高校生のときは昼間にしか働けず、そのときの時給は950円だったので、とても嬉しかったです。

しかし、みんなが寝ている時間帯に働くので眠くなる時があります。

もうひとつのアルバイトの「引越し業者」は、引越しの荷物運びの仕事です。

とてもたくさん汗をかき、重たい荷物も運ぶので大変でした。お給料は1日1万円ちょうどでした。

コンビニの店員も、引越しの作業も、どちらも大変でしたが、私にとってお金を稼ぐことはとても楽しく、嬉しいことでした。

日本では18歳になると自動車の免許を取得することができます。

私はアルバイトで貯めたお金で自動車の免許を取得しました。

ちなみに、日本で自動車の免許を取得するときは、学科と実技の2つの試験があります。

学科というのは教科書をみながら勉強することで、実技というのは実際に車を運転することです。

ほとんどの人が、学科と実技を教えてくれる「自動車学校」と呼ばれる学校に通います。自動車学校に支払うお金は30万円くらいです。

自動車学校に通って卒業すると、実技試験をせずに免許を取得することができます。

ただし、自動車学校を卒業しても学科の試験だけは合格しなければ運転免許は取得できません。

私も周りの人たちと同じように、自動車学校に通って車の運転や知識を学び、自動車の運転免許を取得しました。

母からは何回も「運転には注意なさい」と言われました。

父は「家の車を使ってもいいけど、事故を起こさないように気をつけなさい。もし事故を起こしてしまったら慌てずに必ず警察に連絡しなさい」と言いました。

■社会人

大学を卒業してから、私はホテル業界に就職しました。このとき21歳でした。

はじめはフロントで働きましたが、次第に責任のある仕事も任されるようになりました。

23歳のとき、実家を出てひとり暮らしを始めました。

「実家」というのは自分が生まれ育ち、両親が住んでいる家のことをいいます。

この会社で働くようになり、5年くらい経った頃、今の妻と職場で出会いました。

このとき私は25歳でした。妻とは1年間くらいお付き合いをして結婚しました。

結婚する少し前に、その時住んでいた家より広い家に引越しました。

引越しをした日、妻との結婚生活を想像してとても幸せな気持ちになったことを覚えています。

そして、家の荷物を運んでくれるアルバイトの作業員を見て、自分も学生の頃にこの仕事をしていたことを思い出したりしていました。

結婚したあと、妻は仕事を辞めて専業主婦になりました。
私が27歳のとき、1人目の子ども「勇気」が生まれました。

人生における困難に立ち向かっていってほしいという願いを込めて勇気という名前にしました。

私と妻はとても喜びました。
私と妻の両親たちも喜んでくれました。

家族で楽しい時間をたくさん過ごすために、車を買いました。
車はTOYOTAのカローラという車です。

新車で買って200万円くらいの車ですが、私たちは中古車を買うことにしました。

理由は、子どもが生まれてこれからたくさんお金がかかると考えたからです。

130万円くらいで新車のようなカローラが見つかったので、その車を買いました。
休日に家族で出かけるにはこれで十分です。

このとき、昔両親に言われたことを思い出しました。

私が大学生で自動車免許を取得したとき、父と母はいつも「車の運転には気をつけなさい」と言っていました。そのことを思い出したのです。

子どもが生まれて、車も買いました。

とても幸せな気持ちでいっぱいでしたが、私は交通事故を起こさないように、車の運転には注意しようと強く思いました。

子どもが生まれて、家族が増えて、私はもっと仕事をがんばるようになりました。

32歳のとき、サブマネージャーという役職になり、給料も上がりました。

34歳のとき、2人目の子ども「花」が生まれました。
花は女の子です。生まれたときまるで花のように明るいイメージがあったので「花」という名前にしました。

私と妻はとても幸せな気持ちでいっぱいになりました。
私はもっと仕事をがんばるようになりました。

去年、サブマネージャーからマネージャーに昇格して給料も増えました。このとき私は37歳でした。

ホテルの仕事はとても楽しいです。お客様に喜んでもらえると、私はもっと仕事をがんばろうと思えます。

ホテルの仕事はいろいろな人と会うことができます。いろいろな人と会うとたくさんのことを学ぶことができます。

私は人と話すことが大好きなので、この仕事が私の天職なのかもしれません。

これからも仕事をたくさんがんばって、休日は家族と一緒に楽しく過ごします。

来月は妻との結婚記念日があります。今のうちに花屋で妻に贈る花を予約しておこうと思います。

「私の生き立ち」はいかがでしたか。

今後の動画制作に活かしますので、感想を是非コメント欄から教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

